

# 図書館分科会 開催報告

## ○全体報告

図書館分科会には、桜美林大学（1名）、白百合女子大学（5名）、城西大学（1名）、帝京大学（4名）、法政大学（1名）、立命館大学（4名）、成城大学（9名）計7大学の図書館のサポーター学生25名が参加しました。対面参加は7名、オンラインでの参加者は18名のオンライン・対面のハイブリッド型での開催となりました。

はじめに、当日の流れを説明した後、各大学の活動内容を紹介する時間を設けました。その後、大学・学年をランダムに各5名、5グループに分け、グループワークを中心に会を進行しました。グループワークでは、自己紹介と2つのワーク及びそれぞれのワーク内容の報告を行いました。最後は、全体で活動の振り返りをし、分科会を終えました。

各団体の活動内容を知ったり、同じ様に図書館で活動する多数の人とコミュニケーションをとったりすることで、多くの刺激を受けました。今後、自分たちの活動に繋がるヒントを得ることができたと思います。この会を機に新たに知り合うことのできた仲間と、これからも交流を続け、図書館活動の活性化に努めたいと思います。



写真1：分科会後 対面参加者の記念撮影



写真2：グループワークでの様子

## ○他大学の活動報告

事前に準備したスライドをもとに、1分間で、現在の活動やコロナ禍前の活動を紹介しました。どの大学も、コロナ禍で以前のように活動ができないなか、工夫を凝らしながら活動している様子がうかがえました。

全体としては、図書館の棚やSNSを活用し、学生目線で本を紹介している団体が多くみられました。ほかにも、ビブリオバトルや読書会、オンライントークショーなどのイベントを開催している団体もありました。今後の活動の参考になる有意義な時間でした。

## ○グループワーク

今回の分科会では、2つのグループワークを行いました。

1つ目は、「図書館のおすすめの過ごし方・使い方」をテーマに、各自が事前に考えてきた「図書館でのおすすめの過ごし方・使い方」を紹介してもらいました。当日出された意見では、「待ち合わせ場所として使う」

「図書館の閲覧席から見える景色を楽しむ」「新たな人と出会う場所として利用する」など、図書館がランドマーク的な存在であることを再認識させられる、新しい視点もありました。また、「先生から紹介された本や普段あまり読むことがない大型本を読む」という人や、具体的に特定のお気に入りの席を紹介する人もいました。他の学生が、普段どのように図書館を利用しているのかを知ることができたことで、図書館の様々な活用法が見えてきました。

2つ目のワークでは、ワーク1を踏まえて、「学生に図書館の魅力を紹介するには」というテーマでディスカッションを行いました。図書館を身近に感じてもらうため、おすすめのスロットを紹介したり、ビブリオバトル、読書会、ヨガ読書、新聞を読むなどのイベントの開催、図書館サイトの充実化など、ワークシートがいっぱいになるほどたくさんの意見が出ました！当団体としても、ここで出た「見る人の印象に残るようなポスター、動画、SNSの使い方」などの意見を参考に、今後の発信の仕方を考えていきたいです。来年度以降にも繋がる、大変有意義なディスカッションを行うことができました。